

NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川



《 ささえあい 》 2月号

事務所 〒666-0015 川西市小花2丁目25-1 TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com HP : [ナルク宝塚・川西] 検索 →



会員数 1月31日現在 144世帯・会員 204名・賛助会員 13名

新春懇親会が盛会裡に終了しました

中田年平 (事務局)

1月15日(日)キセラ川西プラザ大会議室において会員の親睦を図るため3年ぶりに「新春懇親会」を開催しました。

本部より神野会長ご臨席の元、5名の賛助会員及び会員39名が参集され楽しい1日を過ごしました。

開始に当り厚東代表の挨拶、本部の神野会長よりご祝辞をいただき、当日最長老の北岸松男さんの乾杯の音頭で楽しい会食がスタートしました。

賛助会員5名の皆さん多忙な折にも関わらず、ご臨席いただき国会議員、市長としての活動状況及び各市町議会それぞれの活動を踏まえた祝辞とナルクへの激励のお言葉をいただき、参加の皆さんとの懇親を深めていただきました。

会食終了後はアトラクションの開始、米田副代表の司会でトップバッターは川西市のボランティアの松林正晴こうたいや あつばれ(高大家 天晴)さんの落語で新春初笑い、続いて芸達者な北岸松男さんの「詩吟」、渡辺三枝子さん、鷲北正治さんによる「新舞踊」が披露されました。

アトラクションが終了後は、ビンゴゲームで景品のゲットを楽しみました。

ビンゴ1位の賞金を引き当てたのは猪名川町の鶴崎俊雄さん、その後2位、3位とゲットされ、2位の宮本秀樹(本部事務局次長)さんは引き当てた賞金をご寄附いただきました。ありがとうございました。

参加者全員外れなしで色々な景品をゲットされたので、皆さん大喜びでした。

今年はコロナの再発拡大傾向の中で開催が危ぶまれた懇親会でしたが、皆様のご協力により無事に終了し、参加の皆さん楽しく過ごしていただけたことと役員一同喜んでいきます。

最後は、本年1年色々な活動を通じて会員の皆様のご健勝で躍動出来る年になることを祈念して、神野会長、米田副代表の1本締めで本年の新春懇親会は終了しました。ご協力ありがとうございました。



厚東代表の挨拶



本部神野会長のご祝辞



名演の鷲北さん



見事な踊りの渡辺さん



名調子の北岸さんの詩吟

※ 写真は中田さんが他にも沢山撮ってくれています。会報にはこれだけしか掲載出来ませんが、他の写真はホームページに掲載しますことをご了承ください。(厚東)

ホームページアドレス: <https://bit.ly/3DLi4HR>



【1 月の入会者】

事務局

※ 藤原昌子さん・紀生さん^{のりお} 川西市大和西
 色々な行事に参加して楽しんでください

【今後の行事予定】

事務局

2 月 18 日 (土)	猪名川クリーン作戦	9:00~11:30	事務所集合 9:10
	猪名川クリーン作戦終了後らくごクラブ	11:30~13:30	事務所
2 月 21 日 (火)	兵庫地区連絡協議会	13:30~15:30	尼崎女性センター・トレピエ
6 月 25 日 (日)	第 28 回定時総会	10:00~12:00	宝塚市東公民館

【時間預託活動と点数】

事務局

	仕事 援助	家事 援助	受託 事業	送迎	事務所 当番等	コーデ ィ ネット	講師	活動 合計	活動 会員数
2023 年 1 月	0	0	22	0	41	1	2	66	9
4 月~1 月累計	348	128	248	16	489	12	30	1271	149

【2023 年 1 月度の運営委員会】 「ハイブリッド会議(*)」

事務局

「12 月活動報告」

- ・ 仕事援助 (庭仕事: 大野・厚東): 利用者: 1 名
 : 提供者: 厚東・中尾・柴川の皆さん
- ・ 家事援助 : 利用者: なし
- ・ 介助 (渡辺)・送迎 (大野) : 利用者: 4 名
 : 提供者: 小倉・渡辺・田川・小幡の皆さん
- ・ 受託事業: 宝塚ちどり (平塚) : 喫茶サービスは 2020 年 3 月以降コロナ禍で休み
 うぐいすの森 (厚東): 小幡・田川・北川・狩野・厚東・厚東 (恵)・柳田・米田の皆
 さん…お疲れ様でした

〈議題〉

- 1) 新春懇親会について (厚東・米田・中田) ……1 月 15 日 (日) キセラホール 2 階大会議室
 運営委員は 10:30 に現地集合 当日の役割り分担: 横断幕・案内板・配席決定・舞台
 作り・景品・茶菓の手配役・1 円玉募金箱・弁当お茶の担当など
- 2) 寒肥作業と今後の庭仕事について (大野・米田・厚東) ……寒肥作業を実施する否か
 庭仕事は 2 軒残っている
- 3) 猪名川クリーン作戦とらくごクラブの件 (中田・米田) ……11 月以降の会報に案内記事掲載済み
 1 月 13 日 (金) 実行委員会 (池田市立駅前会館) 厚東さんが出席
- 4) 賛助会員の宝塚市議大島さんの活動に関する件 (平塚) ……1 月 29 日 (日) 宝塚東公民館で「い
 のち見つけて (高次脳機能障害と現代社会)」の映画の説明と懇親会時のチラシ配布に
 ついて協議の結果、テーブルに置いたのを関心のある人が持ち帰ることとした
- 5) 今年の総会の日程決定と来期の運営委員候補者について (厚東) ……第 1 候補 6 月 25 日 (日)、
 第 2 候補 6 月 24 日 (土) 宝塚東公民館を平塚さんが予約する

(*) ハイブリッド会議

ハイブリッド会議とは、集合型の会議（リアル）とインターネット会議（オンライン；ZOOM）とを融合（ハイブリッド）した会議の事を言います。

従来のように参加者全員が同じ場所に集まるのではなく、参加者の一部（または多く）が別の場所から「オンラインで」参加する、新しい会議スタイルです。

【ググってみました（5）】

井上堅也（宝塚）

「今回はよく聞く3文字言葉『コスパ』『アプリ』を・・・。」

コスパ：コストパフォーマンス(cost performance)の略語

費用対効果。支払った費用(コスト)と、それにより得られた能力(パフォーマンス)を比較したもので、低い費用で高い効果が得られれば「コスパが高い」と表現される。「費用」は金銭だけでなく時間・労力・精神的負担なども含まれ、「パフォーマンス」は、作業なら結果、工業製品なら性能、食べ物なら味、ファッションなら材質・デザイン性、人間関係なら他人から得られるものなど、様々なことに使われる。

アプリ：アプリケーションソフトウェア(application software)の略語

メールや地図など「特定の目的をもって作られた専用のソフトウェア」のこと。

具体例としては、文書を作成するためのワープロソフト、表を作成するための表計算ソフト、電子メールをやり取りするための電子メールソフト、プレゼンテーションの資料を作成するためのプレゼンテーションソフト、画像を作成するためのドローソフトやペイントソフト、写真を編集するためのフォトタッチソフト、音楽データを再生するための音楽ソフト、その他会計ソフト、家計簿ソフト、年賀状ソフトなどがある。

【拠点エリア内の名所史跡のご案内】

「宝塚市」

平塚久恵（宝塚）

「宝塚市のダリア園の歴史を紹介します」

宝塚市北部地域にある佐曾利（さそり）地区でダリア栽培が開始されたのは、昭和5年（1930年）です。

世界恐慌による不況から脱脚すべく、5～6人の農家が切り花として栽培し、周辺地域へ出荷を始めました。当時はお葬式の花としてダリアが重宝されたこともあり、年々栽培者は増加し、昭和10年（1935年）に36人の農家からなる「佐曾利農芸組合」が設立されました。

太平洋戦争中には、全国的に花の生産が下火となる中で、ダリアの球根には「イヌリン」という多糖類の一種が含まれることから、軍需薬品原料として、栽培が奨励されました。

戦後は球根栽培が主流となり、昭和25年（1950年）にはアメリカへ約3万球ものダリア球根が輸出されました。最盛期である昭和46年（1971年）頃には約300万球もの球根を生産する一大生産地となりました。しかし、ピーク後は、高齢化により農家数が減少したことや、日本経済が高度成長したことによる円高などが影響し、ダリアの生産量は次第に減少し、海外への輸出も少なくなっていました。

さらにお葬式の花として重宝されたダリアは、菊にそのポジションを奪われてしまったので 佐曾利園芸組合は、ダリアという地場産業を守るために、全園の育種家の協力を得て、赤・桃・黄・紫といった華やかな色や、大輪や中輪の球根生産に取り組んできました。

その結果、宝塚市で独自に交配された品種である「宝寿」、「華宝」、「宝雪」などの宝シリーズも生まれ、現在ダリアは豪華で高級感のある花として再び注目を集めるようになりました。

その後、市花と認定されました。

（宝塚市北部振興課の資料引用）



【会員の広場】

「ああ～よかった！助かった」

田川幸子（宝塚）

ナルクの会員になって 7～8 年になるかな～。同好会で楽しんだり老人ホームの掃除を月 1 回、時々事務所当番などさせていただいています。他には私の得意分野である医療に関することでボランティアをさせてもらっています。私自身がサービスを受ける立場にならないだろうかと考えていました。

娘が 3 人まあまあ近い所に住んでいるから大丈夫、そう思っていました。ところが緊急事態発生！長女が緊急手術になるからすぐ来てとの連絡あり。丁度昼食の準備に取り掛かったばかり。87 歳の夫は全く食事作りには能がない。昼はインスタントのカレーで急場をしのいでもらったが、病院で待機中の私は身動きがとれない、夕食が気になるがどういう訳か残り物は何もない。大阪で勤務している三女に電話する「今日は忙しくて残業だから駄目」と一声。そうだ近くで親しくしている会員さんに頼もう。快く引き受けて下さり夫はおいしい手作り弁当にありつけた。会員同士の助け合いとはこういう事なのだ、ナルクに入ってよかった！気軽に頼める、ポイントで返せるこのシステムは最高です。ちなみに私が帰宅したのは夜 9 時 30 分でした。

娘は大した心配もなく無事手術を終えたのでやれやれでした。

文芸コーナー

今月から吉田松陰の一日一語を比較的最近の著名人の名言に変更します。最初は明治の偉人「渋沢栄一」です。

「もうこれで満足だという時は、すなわち衰える時である」
「一人ひとりに天の使命があり、その天命を楽しんで生きることが、処世上の第一要件である」

毎月異なる人物にしますので楽しみにお待ちください。

【言葉の由来】

『李下に冠を整さず』

「李すももの木の下で手を上にあげれば、たとえそれが（帽子）を直すためであっても、李を盗んだように思われるから、そんな疑われるようなことはしない方がいい」という意味です。この言葉は「瓜田かでんに履くつを納れず」という言葉と対になって用いられていましたが、「李下・・・」だけが有名になって残っているのです。

【俳句】

『いたげなふりしてとまるひねり独楽』

杉木妙子

【短歌】

『改札を無言で出でくる人ひとよマスクどうなる三年目の春』松野綾子

【川柳】

『飲み過ぎて駅のベンチで目が覚めた』お題「駅」 喜楽トシボ



『編集後記』

3年ぶりの新春懇親会も無事に終了しました。大寒が過ぎ、あっという間に2月。まだ厳しい寒さが続いています。立春を過ぎ七十二候では2月14日は「水がぬるみ割れた氷の間から魚が飛び跳ねる頃」だそうです。そろそろ、寒さもやわらいで、足取りも軽くなりたいですね。スギ花粉の飛来と共に春の音が聞こえそうです。コロナ禍で世の中は薄曇りや暗雲でしたが、5月8日（5類決定）以降は大手を広げ快晴の下、笑顔で日常の生活に戻ることを願うところです。イベント制限が撤廃され、スポーツ観戦やコンサートの賑わいが戻るのをゆっくり待ちましょう。

（鶴崎記）